

「体験の風をおこそう運動推進事業」

1. 趣旨

子ども達の健やかな成長にとって体験がいかに重要であるかを広く家庭や社会に伝え、社会全体で体験活動を推進する機運を高めるために、地域の社会教育団体と連携しながらブース出展し、体験活動の機会を提供する。

2. 事業の概要（期日と参加者）

	参加事業名	期日	参加人数	会場
1	2016 栗原市民まつり	8月27日（土）	685	志波姫イオンスーパーセンター
2	第30回しろいし蔵王高原マラソン大会	9月18日（日）	540	南蔵王野営場
3	テンパークまつり2016	9月25日（日）	596	国立岩手山青少年交流の家
4	第8回登米市こどもまつり	9月25日（日）	262	迫体育館、迫公民館
5	なすかしの森ファミリーフェスティバル	10月 2日（日）	196	国立那須甲子青少年自然の家
6	ばんだいフェスティバル	10月16日（日）	500	国立磐梯青少年交流の家
7	2016 薬師まつり	11月 3日（木・祝）	216	栗原市築館総合支所
8	第30回なかだの秋まつり	11月 6日（日）	220	登米市中田総合支所
9	第2回バルーンプール×くりはらマルシェ in はなやま	11月 6日（日）	475	旧栗原市立花山中学校体育館
10	第2回栗原ハーフマラソン大会	11月13日（日）	897	栗原市立若柳中学校
11	くりでん乗車会	11月13日（日）	262	旧くりはら田園鉄道 若柳駅
12	花山新そばまつり	11月20日（日）	409	自然薯の館

3. 企画・運営のポイント

- ①地域の社会教育団体と連携してブース出展し、当所の体験活動を提供することでイベントを盛り上げることに協力しつつも、当所の利用や家族対象事業等について多くの地域住民に広報した。
- ②缶バッジづくりを提供する際に、イベントごとのオリジナル台紙を作成し、イベントの参加者の記念となるように準備した。また、白紙の台紙やぬり絵ができる台紙等様々な年齢層が楽しんで活動できるように工夫した。

4. 実際の様子



2016 栗原市民まつり



第30回なかだの秋祭り



くりでん乗車会



参加者と一緒に



幼児も缶バッジづくり



自分だけの缶バッジ



他のブースの待ち時間にも



台紙への色塗りやデザイン



イベント記念バッジ

5. 成果と課題

(1) 成果

- ①他施設、他機関の協力を得て、多くの人々が集まる場に当所のブースを設ける機会を複数回設けたことで、多くの人に当所について知ってもらう機会を得ることができた。
- ②地域のイベントに着目し、様々な機関と連絡をとる機会をもつことだけでも、広報活動につながる成果となった。

(2) 課題

平成28年度はより多くの人に体験してもらうことを主眼として、缶バッジづくりを中心に提供したが、自然の家として特色のある体験活動を提供することがさらに当所について知ってもらうことにつながるため、提供する体験活動を検討する必要がある。

担当：企画指導専門職 島貫 織江